

「いしかわ地域づくり円陣2011」のコンセプト

阪神、中越、能登半島、人の非力を思い知る東日本の大震災。ここに住む、ここに生きる、その意味をこれほど問われたことはない。誰に教えられたわけでもなく、絆という古い言葉を、みんなが口にしはじめた。つなぎとめる、強い何かを求めているのだろうか。

絆は人を家や土地に縛りつける。それを嫌って離れた人はたくさんいる。しかし、どこに住んでも地に足のついた生き方をし、地に根を張りたいと思うのも人の常。地域づくりとは自分と地域との絆を確かめることでもある。これからの絆は、拘束されることを相殺しても余りある、喜びや遣り甲斐や、新しい価値観や思想を生み出すもので

地域が輝く5つのテーマ 分科会

*当日は開始時間の30分前から受付を行います。

第1分科会

手作り祭事・イベントを盛り上げよう!

～地域の思いを集め、多くの人に届けるには～

〔協力団体〕千里浜町壮年団

時間●10:30～14:00

会場●羽咋市文化会館 第1研修室
(羽咋市鶴多町亀田17)

費用●800円(昼食代)

定員●30名

イベント・祭事の知名度アップには、広告宣伝に資金を投ずるか、手作りの志への共感の輪が拡がり浸透するかのいずれかである。地域の思いを集め、その体力に応じた展開をするには、後者を選ぶことになる。一方で、一定以上の歳月を要するこの道程は、主催者内の絆のゆらぎ・必要経費の調達等の仕組みづくりで難渋することがある。

東北を拠点に活躍するゲストを招き、関わった草の根プロジェクトの成功要因を何うとともに、千里浜町壮年団が取り組む手作り祭事「千里浜侵食防止祈願祭」の発展・展望を題材に、実践的討議を実施。ゲストが持つ成功秘訣の応用を試みる。

ゲスト

吉川 由美

(有) ダハ プランニングワーク 代表取締役

プロデューサー、演出家、クリエイティブ・ディレクター。さまざまなコミュニティで市民を巻き込みながらコミュニティと文化芸術、観光、教育をつなげるプログラム・オフィサーとして活動。2010年より、南三陸町の新たな魅力を再発見するアートプロジェクトを展開。東日本大震災で甚大な被害を受けた町で、アートを通し復興に向けたプロジェクトを展開中。2007年から仙台・宮城観光キャンペーンに関わるクリエイティブ・ディレクションを担当。八戸ポータルミュージアムはっち 文化創造ディレクター。宮城大学非常勤講師。

コーディネーター

濱 博一

石川地域づくり協会 コーディネーター

能登半島をはじめとして「地域活性化」をライフワークとする。各種起業・産業振興政策にも従事する傍ら、各地の活動現場を支援。地域に根ざしたシンクタンクとして政策立案から人財育成に至るまで幅広く活動している。

あって欲しい。災害に遭遇しても、先人たちはここに留まり、またタネを播いた。私たちがいまここに居るのは先人たちの決断のおかげである。

さて、「いしかわ地域づくり円陣2011」は、羽咋で活動する仲間たちが5つの分科会を用意した。昨年は地域づくりのシカケがエンジン(動力)なら、シクミはトランスミッション(動力伝達装置)であるといった。それに倣うなら、絆はエネルギー(燃料)である。地域づくりのエネルギーは人間の絆。膝を交えて話し合い、互いに燃料を満タンにしようではないか。地域づくり仲間の参加を待っている。

第2分科会

魅力あるまちづくりから 絆・ひとづくりへ

～公園・花壇の整備と人を巻き込む
まちづくりのための「シカケ」と「シクミ」～

〔協力団体〕ケ拉里ひとの会、フラワーメイト

時間●10:00～14:30

会場●羽咋市文化会館 第4研修室
(羽咋市鶴多町亀田17)

費用●1,500円(昼食代及びお茶菓子代)

定員●30名

邑知しの郷公園を魅力ある公園にし、市民が集い、楽しく利用できる公園にする活動をしている「ケ拉里ひとの会」。羽咋市全体が色とりどりの花で美しい町並みになるよう活動している「フラワーメイト」。2つの団体が目的を達成するための具体的な手法や、市民・地域の関係団体・行政と連携した活動をするための「シカケ」と「シクミ」を考える。

ゲスト

船引 孝昭

小田野中央公園まちづくりの会 会長

東京都八王子市で活動している「小田野中央公園まちづくりの会」は公園づくりとまちづくりを行う市民団体。この活動の元になったのが「小田野中央公園をつくる会」である。「つくる会」は地域の町会、自治会、市民団体、市が集まり、協働の公園づくりを話し合い、平成18年に「小田野中央公園づくりパートナーシップ協定」を市民団体と八王子市が交わし、平成20年に同公園を開所した。地域住民と行政の協働による公園づくりと、公園が完成したあとのまちづくりを、先行して行っている八王子子から学びたく、会長の船引氏をお招きした。

コーディネーター

藤橋 由希子

石川地域づくり協会 運営委員

普段は金沢市内のホテルに勤務し、観光誘致やおもてなしの第一線で活躍しているほか、ボランティアガイド「まいどさん」の一員としても活動している。また、「観光を手段とした地域振興」を目標に、異業種による研究会の会長も務め、調査研究だけでなく実際に至るまでの様々な事業を行っている。

第4分科会

地域の観光資源再発見

～羽咋市千里浜地区で地元学と
観光のまちづくりを考える～

〔協力団体〕チームNAGISA

時間●9:30～14:00

会場●千里浜レストハウス(羽咋市千里浜町タ4-1)

集合●9:30コスモアイル羽咋(玄関)
(羽咋市鶴多町亀田25)

費用●1,500円(昼食代)

定員●20名

地元の人には当たり前の風景・体験が、外の人には感動を与える素晴らしい観光資源となることに気付かない場合が多い。この分科会では、日頃、地域の資源を活かしたまちづくりをしている方々を対象に「地元学」の手法で地域資源探しを実践。チームNAGISAのメンバーの「土の目」とともに、参加者の「風の日」を入れながら、観光資源探しに出掛ける。これから地元学を学んでみたい、という方も歓迎!

〔地元学での散策ポイント〕千里浜地区の松林再生／アカウミガメ産卵地の保護／オニユリ群生地再生／大伴家持歌碑再生

※撮影した写真でワークショップをしますので、デジタルカメラを持参ください。服装は軽装をお願いします。

ゲスト

赤石 大輔

能登半島里山里海自然学校 常駐研究員

能登半島里山里海自然学校の常駐研究員として、地元の人と協働して里山里海の再生をめざす活動をしている。専門は生態学。里山のキノコと昆虫の関係を研究している。金沢大学大学院自然科学研究科博士後期課程(生命科学)修了。理学博士。群馬県伊勢崎市出身。

若井 憲

月刊「自然人」編集長

メーカーで設計をしていたが、ひょんなことから大好きな旅行に関係する出版社に転職。仕事で旅行ができ、これほど楽しいことはないと思っていたが、だんだん観光地を外側から眺めるだけでなく、そこに住んでみたくなり、1999年に思い切って金沢へ家族で移住。現在は橋本確文堂で「自然人」の編集長を務めながら、さまざまな情報発信を手伝っている。神奈川県川崎市出身。

コーディネーター

谷内 博史

石川地域づくり協会 コーディネーター

まちづくり活動を支援するNPOでの勤務や、まちづくり会社での中心市街地の再生の経験を経て、現在は、七尾市のまちづくりコーディネーターとして、市民活動支援助成制度、まちづくり基本条例策定を担当。能登旨美オンパルクまみん実行委員として、能登の地域資源を活かした着地型ツアープログラムづくりのコーディネートも行う。富山県富山市出身。

第5分科会

過疎地の里山を蘇らせる

～世界農業遺産登録を追い風に～

〔協力団体〕里山里海地域連絡協議会

時間●10:00～14:00

会場●邑知公民館神子原分館(羽咋市神子原町チ18)

費用●1,200円(昼食代「里山定食」)

定員●30名

限界集落である神子原地区を、「烏帽子親農家制度」や農家の出資による「神子原農産物等直売所」の設置、米をローマ法王に献上し高付加価値化させるなどして蘇らせた。また、自然栽培によって、農家・消費者・環境のall-win関係を目指し、GIAHS(世界重要農業遺産システム)登録によって、拍車をかけている。そのシクミとシカケ、住民の取り組みを検証しながら、今後、世界農業遺産登録を追い風にする次の一手を探る。

ゲスト

松本 政文

(株)神子の里 社長

元専業農家。農業の先々への不透明さと、地元の推薦により直売所の社長となる。まだまだ集落の理解が得られない中から、それを覆す行動力と創意工夫、神子原米という素晴らしい地元産品を生かし、神子の里様を開業1年にして黒字化に導く。

武藤 一樹

神音カフェ オーナー

空き農地空き農家情報バンク制度を利用し、携帯電話もつながらない過疎の村に、マエストロとして移住する。同時に農家カフェ「神音カフェ」を開業。現在ではマスターの人柄と、こだわりのレシピ、桃源郷のような菅池の地の魅力を求め、老若男女問わず、年間多くの人々が来訪する。

東山 照義

菅池町住民代表

元限界集落・菅池町のリーダーの一人。烏帽子親農家制度のメイン行事である援農合宿の里親として、年間を通して多くの学生を受け入れ、過疎集落への交流人口の増加に大きく貢献している。また、町へ移住してきた若者の烏帽子親も引き受け、町にはなくてはならない存在となっている。

コーディネーター

山田 哲也

羽咋市役所 健康福祉課 援護係、主任
(元1.5次産業振興室員)

平成19年4月から22年3月の3年間、1.5次産業振興室の室員として従事。高野誠鮮氏のもと、地域活性の理念・経営理念・成功哲学を学びながら、現場で集落の人々と共に実践する。

コーディネーター

みんなで住む、
みんなで生きる
みんな、そばにいる

全体会

時間●15:00～18:30

会場●コスモアイル羽咋 小ホール

〈プログラム①〉

石川地域づくり表彰

表彰授状式、受賞者の活動報告

〈プログラム②〉

石川地域づくり協会 臨時総会

〈プログラム③〉

分科会報告

〈プログラム④〉

ひな壇トーク!

「絆を深める活動に不可欠な要素」

出演者

分科会のゲストとコーディネーターのみなさん

進行役

森山 奈美

石川地域づくり協会コーディネーター

交流会

どなたでも参加できる
名物プログラム!

時間●18:45～19:45

会場●コスモアイル羽咋 小ホール

会費●当日は会費1,000円+1,000円相当の特産物を持参してください。
食べ物以外でも歓迎です。

地域づくりに携わる人や、地域づくりに興味がある人が大集結。団体紹介・イベント案内・特産物PRができます。

- うまいもんがずらり「立食コーナー」
- 地域自慢の味と技「特産物コーナー」

《当日スケジュール》

■分科会(羽咋市内の各会場)

第1分科会 10:30～14:00

第2分科会 10:00～14:30

第3分科会 10:00～13:30

第4分科会 9:30～14:00

第5分科会 10:00～14:00

※受付は開始もしくは集合時間の30分前からです。

■全体会(コスモアイル羽咋 小ホール)

14:30 受付開始

15:00 開始

18:30 終了

■交流会(コスモアイル羽咋 小ホール)

18:30 受付開始

18:45 開始

19:45 終了

■夜なべ談義(自主開催)

19:45～

紙ツイッターも
飛び出す!

